



福島わらじまつり

福島市中央部、信夫山にある羽黒神社には、古来健脚を願って毎年2月の「暁まいり」で長さ12本の「大わらじ」が奉納されている。まつりは江戸時代から伝わるこの行事を由来に行われる。市内中心で大わらじパレードや、わらじ音頭に合わせてわらじおどりなどさまざまなパフォーマンスも。(毎年8月第1金曜～日曜日、福島市)

苦境に負けず、往時のにぎわいを再び

国内観光の大きな魅力「夏祭り」。今年は新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどが中止を決定している。来年の復活を祈りつつ、応援の意味を込めて全国各地の主な夏祭りを県ごとに数回に分けて紹介する。6回目は福島県。

紙上で見る「にっぽんの夏祭り」第6回「福島県」



郡山うねめまつり

郷士の伝説「采女物語」を主題とした祭り。祭りの主役「ミスうねめ」のパレードや「うねめ踊り流し」「うねめ太鼓」、伝統芸能がにぎやかに行われる。(毎年8月第1金曜～日曜日、または木曜～土曜日、郡山市)

相馬野馬追
相馬氏の祖といわれる平将門が下総国(現在の千葉県北西部)に野馬を放ち、敵兵に見立てて軍事訓練を行ったのが始まりとされる。甲冑に身を固めた500余騎の騎馬者が疾走する豪華絢爛な戦国絵巻。(毎年7月最終土曜～日曜日、南相馬市) 今年是最小限の行事を無観客、関係者のみで実施



東山温泉お湯かけまつり

地元温泉街の若衆、芸妓衆や地元の子供たちが神輿を担ぎ、温泉街を練り歩きながら、各宿の宿泊客から温泉の湯を浴びせかけてもらう。縁起物の湯銭もまかれる。(毎年8月第2土曜日、会津若松市)



会津田島祇園祭

日本三大祇園祭の一つとされる。大屋上で上演される子供歌舞伎や神様への供え物を運ぶ七行器行列、街中を回る神輿渡御、神社で奉納される太々御神楽など、見どころが多い。(毎年7月22～24日、南会津町) 今年には神事を規模を縮小して関係者のみで実施